

湖南省障がい者施策推進協議会からの現計画の評価等

平成 29 年度第 1 回湖南省障がい者施策推進協議会の結果から
(開催日時：平成 29 年 9 月 1 日)

●議題

第 2 次湖南省障がい者の支援に関する基本計画(湖南省障がい者計画及び障がい福祉計画にかかる施策)の推進状況について説明

●協議会での主な意見等

- ・対人関係のつまずきや発達の特徴など「障がい」診断を受けず、ひきこもり状態の人もある。障がい者の計画は本来、「生活がしづらい」という人も含めて多くの方を励まし合えるような地域を作っていくことが目的ではないか。
- ・保護者からは施設入所を希望したいという声をよく聞く。「福祉施設から地域生活への移行」の考え方と逆の方向の話であるが、保護者の切なる願いに対して支援者としてどう対応していけばよいのか。
- ・ここ 20 年間で障がい福祉サービスが充実化してきた一方で、行政予算も伸びているが、この財源は障がいのある人や子ども達がなるべく地域で暮らしていけるためのサービスを作っていく予算にシフトされているものである。
- ・施設から地域へ方向転換をすすめるには、保護者が安心できるようなモデル(選択肢)が必要。
- ・養護学校卒業生の中には「生活介護事業所」を希望する人が多いなか、サービス資源が少なく進路の確保に苦労している。
- ・福祉避難所の実用化を。障がいのある人を対象とした避難訓練の実施を。市・事業所・地域の三者が一緒になって取り組めるような計画作りを。